

参加費
無料

生と死を、今考える

—がん医療とスピリチュアルケア—

日時

平成22年

11月20日

13:30~17:10

場所

府立急性期・
総合医療センター
3階講堂

交通アクセス

- 市バス……あべの橋(天王寺)よりバス15分
「府立総合医療センター」下車すぐ
- 地下鉄……御堂筋線「長居駅」より徒歩15分
- 南海電鉄……高野線「帝塚山駅」より徒歩10分
- JR……阪和線「長居駅」より徒歩12分

●記念コンサート(13:30~14:00)
相愛大学 弦楽四重奏団「ROIK Quartet」

●開会あいさつ(14:00~14:10)
府立急性期・総合医療センター院長 荻原 俊男

●基調講演(14:10~15:00、15:00~15:50)

□がん治療最前線と
緩和ケア、ターミナルケアの諸問題
府立急性期・総合医療センター診療局長 田中 康博

□スピリチュアルケアの可能性
相愛大学人文学部教授 釈 徹宗

～休憩タイム～(15:50~16:00)

●パネルディスカッション(16:00~17:00)

□テーマ：がん医療とこころのケア

- コーディネーター:毎日放送 大谷 邦郎
- パネラー 府立急性期・総合医療センター小児外科部長
(緩和ケアチーム長)吉田 洋
相愛大学客員教授(就任予定)秋田 光彦
相愛大学講師(就任予定)打本 未来
- 議論参加 基調講演者2名

●あいさつとまとめ(17:00~17:10)
相愛大学学長 金児 曉嗣



相愛大学
釈 徹宗



相愛大学(予定)
秋田 光彦



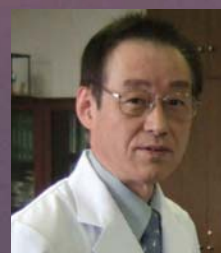
相愛大学(予定)
打本 未来



毎日放送
大谷 邦郎



急性期・総合医療センター
吉田 洋



急性期・総合医療センター
田中 康博

*お申込みは府立急性期・総合医療センターへ

お電話 06-6692-2222、または ホームページのセミナー申込み画面にて
「氏名」「住所」「電話番号」をお知らせください。

<http://www.gh.opho.jp/>

受付期間は10月1日(金)~10月29日(金)です。なお、先着200名になり次第締め切らせていただきます。

※お寄せ頂いた個人情報は、個人情報保護法に則り厳重に保管し目的以外の使用はいたしません。



モバイルサイト

相愛大学×府立急性期・総合医療センター 連携シンポジウム



積 徹宗 (しゃく てっしゅう)

'61年、大阪府生まれ。大阪府立大学大学院人間文化研究科博士課程修了。学術博士。相愛大学人文学部教授。浄土真宗本願寺派如来寺住職。NPO法人ライフ代表。著書『親鸞の思想構造 - 比較宗教の立場から -』（法蔵館）、『ゼロからの宗教の授業』（東京書籍）など多数。論文「不干斎ハビアン論」で第五回涙骨賞（中外日報社）を受賞。



大谷 邦郎 (おおたにくにお)

'84年毎日放送入社。報道局にて主に経済畑で記者として活動。'03年からラジオ局報道部デスク・報道番組のディレクター。'07年にラジオ局報道部長。現在は編成局宣伝部長。'05年にはお仕事を楽しむ人の図鑑「関西唯の人」（星湖舎）出版。'07年放送業界で最高権威の一つギャラクシー賞のラジオ部門でプロデュースした作品が最優秀賞を受賞。'08年には自身の作品で民間放送連盟賞の教養部門で優秀賞受賞。



秋田 光彦 (あきた みつひこ)

'55年大阪市生まれ。浄土宗大蓮寺住職。パドマ幼稚園園長。同寺塔頭の劇場型寺院・應典院をNPOや芸術文化の拠点として開放、年間3万人の若者が集まる。寺はそもそも地域の寄り合い、交流の場であり、さまざまな「場」づくりを通してつながりを再生し、コミュニティを創造する。

また少産多死時代の葬送の問題にも取り組み、大蓮寺・エンディングを考える市民の会代表として、寺とNPO協働によるコミュニティケアにも取り組む。共著「地域をいかすつながりのデザイン」。'11年4月より相愛大学客員教授就任予定。



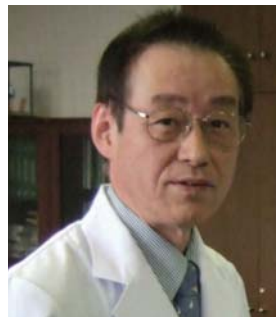
吉田 洋 (よしだひろし)

'88年大阪大学医学部卒。大手前病院外科医師、国立呉病院小児外科医師、大阪大学医学部附属病院小児外科医員を経て、大阪大学医学部助手（小児外科）、愛染橋病院小児外科医長、同副部長、近畿大学医学部外科（小児外科部門）医学部講師、大阪府立急性期・総合医療センター外科副部長を経て、現在小児外科部長及び緩和ケアチーム長。



打本 未来 (うちもとみくる)

北海道医療大学を卒業後、龍谷大学大学院博士課程で仏教を学ぶ。現在、「愛染橋病院」でチャプレンとしてスピリチュアルケアの専門職に従事する。臨床スピリチュアルケア協会にてスーパーヴァイザーのトレーニング中。「あそかビハーラクリニック」ボランティアコーディネーター、龍谷大学講師。上智大学グリーフケア研究所講師。'11年4月より相愛大学講師就任予定。



田中 康博 (たなか やすひろ)

'76年大阪大学医学部卒。大阪大学医学部第1外科、大阪労災病院外科医員を経て大阪大学医学部第1外科講師。'91年5月から大阪府立急性期・総合医療センター勤務。消化器一般外科医長、消化器一般外科部長・主任部長などを経て現在診療局長。この期間中'85年7月から'87年6月まで米国ニューヨーク州立大学 Downstate Medical Center 外科に留学。消化管・膵ホルモンの研究に従事。'98年7月には、米国ウィスコンシン大学移植外科において肝・膵・腎移植の臨床に従事。専門領域は消化器外科（特に胆膵の外科）、内分泌外科。

記念コンサート演奏曲目

- ラヴェル：弦楽四重奏 第1,2楽章
- ベートーヴェン：弦楽四重奏第8番<ラズモフスキー第2番>第4楽章
- 日本の歌～「赤とんぼ」「ふるさと」



ROIK Quartet (ローイクカルテット)

メンバー 相愛大学学生

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ●ヴァイオリン
柳響麗 (りゅう ひゃんりょ) 4回生 | ●ヴィオラ
石塚海斗 (いしづか ひろと) 専攻科生 |
| ●ヴァイオリン
奥谷睦代 (おくや むつよ) 3回生 | ●チェロ
幸野久司 (こうの ひさし) 2回生 |

'09年4月に結成。'09年12月ゲヴァントハウス弦楽四重奏団のレッスンを受講。同年5月ヴィオラスペース公開マスタークラスにて、川崎雅夫氏のレッスンを受講。'10年同マスタークラスにて、NHK交響楽団首席ヴィオラ奏者 店村真積氏のレッスンを受講。'10年6月、大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウスにて開かれたアンサンブルの夕べに出演。小学校、福祉施設など各地で演奏会を開く。

9月～12月公開マスタークラス、'11年2月東京紀尾井ホールにて開かれるプロジェクトQに出演予定。12月27日中之島中央公会堂にて、ROIK Quartet 演奏会を開催予定。